

YAGI

看護師募集案内

「ここにきてよかった」
そう思ってもらえることが私たちの誇りです

めざすのは

Happy

をつくる病院

医療法人 弘善会 矢木脳神経外科病院



救えた命は全力で支える。



救える命は全力で救い、

命を救うことは

Happyをつくる病院。

私たちがめざすのは、

Happyをつくる病院。



言ってもらえるように。

人生を護ること。


突然発症された患者さんの命を救い、不安な心に寄り添って、安心・安全なケアを提供し、その後の人生を共に考えるのが私たちの看護。
「ここに運ばれてよかった」という患者さまやご家族のHappyをつくり、その笑顔で看護師の心にHappyをつくるのが私たちの願いです。



「ここに運ばれてよかった」と

まも

Happy

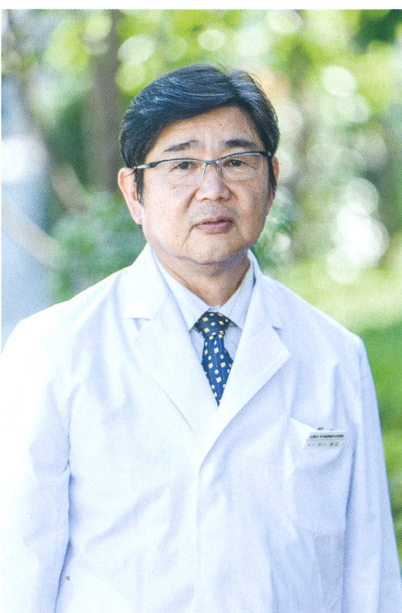


未来の看護師を育てる喜び。

未来の看護師育成プロジェクト

看護師の仕事伝え、看護を意味づける

未来の看護師育成プロジェクトは、これから看護師を目指す人たちに、看護の魅力を伝える活動を行っています。進路を考える高校生に一日看護体験を通じて看護師の仕事伝えていきます。また看護学生に対して就職フェアやインターンシップを通じて共に働き、共に成長する人材採用の一端を担っています。これまでの経験をメンバー間で共有できるため、この活動が自身の看護を意味づける機会となっています。



病院長 谷口博克

ナースの専門性とチームワークを高める

当院は、脳神経外科を中心とする専門病院であり、地域の脳卒中治療の一端を担っています。脳卒中は一刻を争う疾患であり、早期に的確な診断と治療を施すことが、ハンディキャップを最小限に抑え、その後の人生を大きく変えます。そのため最先端の医療機器を導入して、早期に的確な診断・治療が行える環境をつくることで、この地域に暮らす人びとに安心を提供しています。

このような当院で一緒に働く看護師のみならずには、患者の状態を的確に判断し、予測して行動できる力を養ってほしいと願っています。したがって、これからは脳卒中リハビリテーション看護の認定資格など、専門性を高める支援も強化していきたいと考えています。

私は、当院は誰もが笑顔になれる病院でありたいと願っています。「happyにならない手術はしない」をモットーにした医療を提供し、地域の人々、そして医療職のみならず選ばれる病院でありたいと思いつつ、日夜、医療を提供しています。

患者さまを笑顔にするためには、スタッフの笑顔が欠かすことはできません。専門性を持った看護師・コメディカルスタッフ、そして医師がチームになってグレードの高い医療を提供する。その笑顔のケアが患者さまの笑顔を引きだしHappyをつくる。それが職員員のhappyにつながるれば、こんなに嬉しいことはありません。そのために、今以上にチームワークが発揮できる人材を増やしていきたいと思っています。



「患者中心の看護」というのは、誰もが口にする言葉です。しかしそれを実践するのは容易なことではありません。本当に、その人に応じた看護を提供するためには、データを用いた客観的な観察だけにとらわれるのではなく、相手に深い関心を持ち、手で触れ、心の目で観て、察することが必要です。そうして患者さまの思いが看護師の心に伝わった時に初めて、相手求めていくことが見えてきて、その人に必要な看護が考えられると思います。

状態が急激に変化する時期の患者さまをお迎えする当院では、相手に起こっている状況を即座に把握し、患者さまに近づき、考え、その人に必要な看護を言葉に出して、共有しながら看護が実践できるように取り組む姿勢を強化したいと考えています。

患者さまを見る眼と心を育てる人材育成をめざす 看護部長 富田 倫代

患者さまを見る眼と心を育てる人材育成に取り組みたい

患者さまを見る眼と心を育てる人材育成に

ずいぶん昔のことですが、ある患者さまからいただいた言葉は今も私の胸に深く残っています。それは夜勤のとき「今日はあなたがいてくれるから安心して眠れるわ」という言葉でした。そのとき、私の言葉を信じて任せてくださっていることに大きな安堵とよろこびを感じ、それが、その後の看護へのモチベーションにつながっていたように思います。

このように、看護師は患者さまからの言葉で支えられ、看護のよろこびをいただきます。当院の看護師たちも「あなたに出会えてよかった」と思っていただけの看護が実践でき、よろこびを感じながら日々が過せるよう、患者さまを見る眼と心を育てる人材育成に取り組んでいきたいと考えています。

Happy がつくれる看護師を育てる。

1 Stance

本物の看護を目指す姿勢

心を動かす看護
人権を尊重した看護

2 Spirit

弘善会の精神

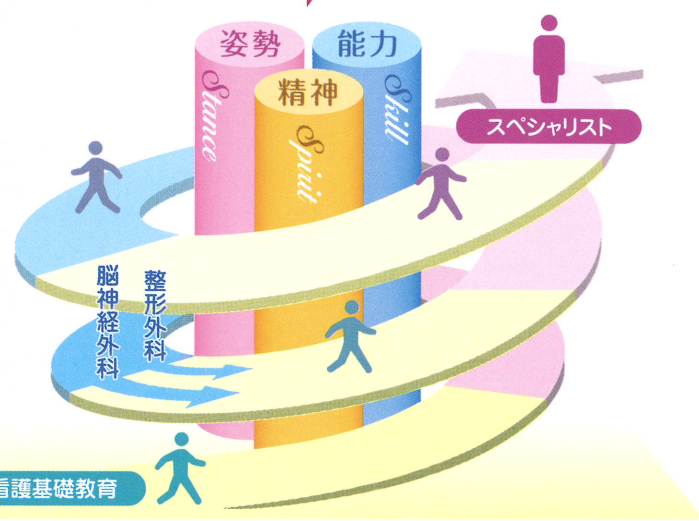
救える命は全力で救う
救えた命は全力で支える

3 Skill

専門領域の看護実践能力

看護師に必要な基本姿勢と態度
看護実践における管理・教育

看護師を育てる3つの柱



看護部能力開発の考え方

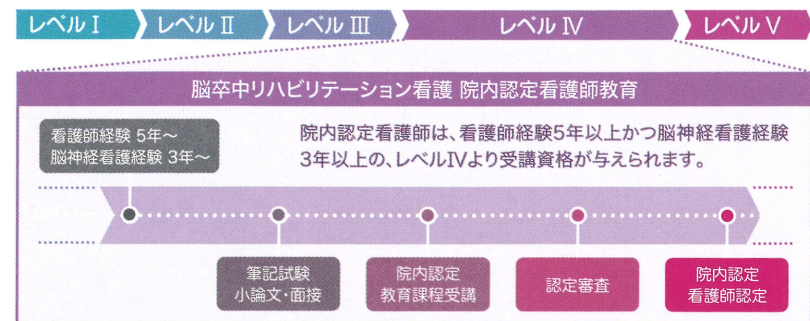
弘善会 矢木脳神経外科病院の看護部では、3つのS(=Spirits・Skill・Stance)を備えた人材を育てます。大地に根を張った3本の柱に沿って看護の経験を積みながら、どのようなスペシャリストをめざすのかを選択し、決めた道を歩んでいきます。

心をうごかす教育が、めざす姿を実現する。

プロフェッショナルな看護師を育てる
矢木スタイルの教育が、心の成長へとつながります。

院内認定看護師教育

当院は脳神経外科の専門病院のため、専門的知識や技術の向上は必須です。臨床で看護実践モデルとなる専門性の高い知識や技術を持った「院内認定看護師」を育成し、認定看護師と協働してスタッフの教育をしていくことで、看護の質を向上させることを目的とし、「院内認定看護師育成制度」を2018年度にスタートしました。



- 目的** 熟練した技術と知識を用いた水準の高い看護実践と指導によって、看護の質の向上を図る
- 役割**
- ・熟練した技術・知識を用い、質の高い看護を提供する
 - ・役割モデルとしての看護実践とリーダーシップを発揮し、後輩を育成する
 - ・多職種との調整を行い、チーム医療を推進する



排泄ケアチームの活動

おむつマイスター 木村 千沙都
患者さんの尊厳を守り、一人ひとりの個性のある自立に向けた排泄ケアの実践を目指して活動しています。そのため、適切なおむつの選択や当て方を習得した人が認定されるおむつマイスター制度を導入しました。患者さんは不快感が減り、睡眠時間を確保でき、スタッフは排泄ケアに対する意識が向上しました。これに伴い、排泄ケアチームはカンファレンスや新聞を発行し、スタッフの排泄ケアの向上に向けて真剣に、やりがいをもって取り組んでいます。



1年目

全力で学ばば全力で返してくれる環境で、自分の意見が言える看護師を目指したい

看護師 吉岡 里美

新人である私が患者さんに名前を覚えてもらえ、「あなたが来てくれてよかった」と言われた時、とても嬉しく感じたことを支えに、今まさに勉強中です。研修でポジショニングを学んだ時、一人ひとりふさわしいポジショニングがあることを学び、「本当にこの姿勢でしんどくないのだろうか」と意識するようになりました。

私は、いち早く急変を探すことを意識し、患者さんの目標達成に向けて介入することを大切にしています。全力で学ばば、全力で返してくれる職場なので、より一層成長できる環境に身を置いてラッキーだと思います。看護観の軸をしっかり作って看護師としての目線を持ち、患者さんの個性を認識してアセスメントして、自分の意見が言える看護師を目指したいです。



Happy

当院では、外国人患者さんが安心して医療、看護を受けられるように外国人看護師を受け入れています。看護を通して、新しい目線を持つ未来の看護のプロフェッショナルを育てたいと思っています。



チームの一員として自ら考えて行動し、周りから頼られる看護師を目指したい

看護師 今元 真季

私は患者さんに対して自分の家族と思って接することを意識しています。寄り添うというのは難しいことですが、意識して患者さんに向き合うことを大切にしています。急性期病棟は手術や検査が多く忙しいので段取りが難しいと感じていましたが、最近はその優先度を考えて時間配分ができるようになり楽しくなってきました。これは、職場の先輩やスタッフのおかげだと思います。わからないことがあれば気兼ねなく相談できるので、日々、成長を実感できて、働きがいに繋がっています。

チームの一員として自ら考えて行動し、周りから頼られる看護師を目指しています。そのためにはまだまだ未熟である知識や技術を勉強し、実践していきたいと思っています。



2年目

看護の世界を拓く、新たな力を育成する。

丁寧な日本語を継続して勉強し、患者さんに対して適切な看護を実践していきたい

看護師 袁 琳 (外国人採用)

大学生の頃、日本の医療システムが優れていることを知り、日本で看護師免許の取得を目指しました。入職当初は不安でいっぱいでしたが、患者さんからの「ありがとう」という言葉をとても嬉しく思い、やりがいを感じたことを覚えています。新人研修も充実しており、多重業務を進める際の優先順位を判断する能力を高めるのにとても役立ちました。また、先輩たちは困った時にすぐ助けてくれますし、プリセプターから熱心に指導を受けることができ、予想以上に早く成長できたと思います。今後は、一人ひとりの患者さんに何をすることが適切なのかを考えて看護を実践していきたいと思っています。そのためにも、日本語の勉強も継続し、丁寧な言葉を覚えていきたいです。

私たちには、めざす看護師の姿があります。



13年目

患者さんに優しく熱心なメンバーと、患者さんの一番の理解者となって看護を継続していきたい

看護師 吉田 薫

看護師として大切にしていることは、変化や様子に気づけるアンテナを持って、共感し、分かり合うことです。先輩からの影響ですが、初心に戻り、患者・家族の想いを知る・分かる・理解することの重要性を再確認し、寄り添うことを惜しまないようにしています。私たちの職場は、休憩時間も患者さんのことについて熱心に話し合うなど、職員一人ひとりが患者さんに優しく、仕事に誇りを持っています。そんなメンバーと共に常に患者さんに寄り添いながら、一番の理解者となって治療ができる環境づくりを継続していきたいと思っています。特に、チーム一丸となって仕事に取り組むチームマネジメント力を身につけられるように頑張っていきたいと思っています。



急性期病棟に入院される患者さんの多くは脳卒中や整形疾患によりこれまでの生活状況が大きく変わります。意思疎通が難しいことや認知症がある方もいるので、病状の変化や患者さんの想いを汲み取ることが難しいことも多く、様々な視点からの観察が必要になります。日々、変化する状態に対しての看護だけでなく、患者さん自身の精神的側面にも寄り添えるように、一人ひとりしっかりとコミュニケーションを取ることを心がけています。

私は、患者さんに関わる時に「この患者さんは認知症があるから」と考えるのではなく、「その人らしく生活できるように」という視点で看護を実践していきたいと思っています。そのためにも専門知識を増やし、実践で活かしていきたいと思っています。

日々、変化する状態に対してだけでなく、患者さん自身の精神的側面にも寄り添いたい

急性期病棟

看護師 渡部 史織



重症患者さんに対して、自信を持って余裕がある看護ができるようになりたい

HCUは高度治療室のことで、ICU(集中治療室)よりもやや重篤度の低い患者さんを受け入れる部門です。患者さんの状態が悪くなることや術後などは急変リスクが高いため、少しでも不安を軽減できるよう努め、患者さんやご家族の話を傾聴することを大切にしています。看護師として必要な専門知識や技術の習得は言うまでもありませんが、精神的なフォローの大切さを実感しています。

この病院は職場の雰囲気がよく、先輩や同僚だけでなく、多職種のスタッフにも相談がしやすいので学ぶ機会に事欠きません。

今後は、脳神経外科を必要とする重症患者さんに対して、自信を持って余裕がある看護ができるようになりたいと思います。

HCU/SCU

看護師
中西 麻有



Happy

地域包括病棟では、自宅退院の患者さんに対し、それぞれの患者さんに合わせた援助を提供しています。リハビリの進行とともにADLが改善していく状況を経過毎に評価・観察し、スタッフ間で情報共有し、介助の取り組みや問題点を相談しています。施設や他院への転院を控えた患者さんの中には、認知症やせん妄といった症状が出てくる場合があります。抑制方法の検討を行い、安全に入院生活を送れるように環境整備に努め、全員で協力して取り組んでいます。リハビリの効果を実感できない患者さんには成果を説明して不安を取り除き、自信をつける関わりを大切にしています。

今後は、感染を学んで環境改善につなげ、認知症患者との関わりについて学びたいと思います。

地域包括棟

看護師 河野 光司



がつかれる仲間とつながる。

患者さんの不安を取り除き自信をつける関わりを大切に、認知症患者について学びたい

チーム医療で地域の未来をまもる。

私たちは常に何が大事なのかを考え、一人ひとりがさらに成長していく

意図をもって仕事に取り組み、職場づくりを目指しています。



看護部で活躍する看護師以外のプロフェッショナルたち

看護部では、看護師の他に看護助手やクラークとチームを組んで、患者さんにより快適で適切なケアを提供しています。



看護助手

患者さんの身の回りの援助、排泄、入浴介助、食事介助など



クラーク

患者さんの検査室へのご案内、書類の整理など

退院支援

生涯に渡って、患者さんのいろいろなことに気づける存在でいたい

私たちは、患者さんの状況や不安を理解し、どうすれば不安を取り除けるかをきちんと考慮した上で、ご家族と一緒に考えることを心がけています。また、病状や新しい治療に限らず、社会資源を知り、その活用方法を学び、一層充実した看護を提供していくことを目指しています。

退院後も安心して暮らせるように、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーションを始めます。



手術室

看護師
香川 唯奈

様々な手術を経験し、手術室看護師だからできる患者さんとの関わりを深めたい

搬送され緊急手術になる患者さんは意識レベルがかなり低い方が多く、緊迫した中で手術が行われます。医師をはじめとする医療従事者の協力で、危篤状態にあった患者さんが一命を取り留めることができ、手術室看護師としてその中にいたことはすごいことだと感じています。手術という患者さんにとって命を懸けた瞬間に関わり、入室後は不安と恐怖に寄り添い、声かけ、ボディタッチ、表情など全身を使い向き合うようにしています。無事手術が終了し、回復する姿を見て看護師の仕事のすごさを実感しています。今は、手術室の仕事が楽しく、誇りに感じているので様々な手術を経験したいです。そして手術室看護師だからできる患者さんとの関わりを深めていきたいと思っています。

外来

看護師
徳原 良子



愛嬌を軸に看護を実践し、患者さんの笑顔を引き出すことを大切にしたい

外来の仕事は、診療の介助・処置をし、声かけ誘導を行い、自分の判断を活かせるのが魅力です。毎日たくさんの患者さんと関わるので、問診一つでもとても勉強になります。また、救急の仕事では、搬送された患者さんの回復と社会復帰を支援できること、命綱の場でありスピードが必要とされる緊張感の中で仕事ができることにやりがいを感じています。

愛嬌を軸に看護を実践し笑顔を絶やさないコミュニケーションで、患者さんの笑顔も引き出せるようにしています。

脳外科の病院は初めての経験ですが、増えた知識を実践に活かすプロセスが楽しく、周囲のスタッフに感謝しています。後輩が入ってきたら、一緒に学び、楽しく指導していきたいと思っています。



医療法人 弘善会 理念

医療・福祉活動を通じて地域社会に貢献することにより社会的責任を果たすことが私たちの使命です。

医療法人 弘善会 方針

当法人は「社会に役立つ個人・法人」をモットーに利用者には「弘善会」をめざしています。

スタッフ一同家族を大切に、自己研鑽に努め、日々仕事に誠をつくし、医療介護を通じて地域社会に貢献していきます。

看護のスペシャリストをめざすなら



病院概要



病床数

92床 急性期病棟(57床)
急性期病棟入院料1
地域包括ケア病棟(19床)
地域包括ケア病棟入院料2
SCU(12床) 3対1
HCU(4床) 4対1



診療科目

脳神経外科/整形外科/総合診療科/
リハビリテーション科/放射線科

採用実績校

関西福祉大学
関西看護医療大学
近畿大学附属看護専門学校
藍野大学短期大学部
大阪信愛学院短期大学
奈良県立病院機構看護専門学校

芦屋国際学院
田北看護専門学校
香里ヶ丘看護専門学校
四條畷看護専門学校
清恵会医療専門学院

くわしい情報は
看護部WEBへ

矢木脳神経 私たちの看護

<http://yagi-ns.jp/>



医療法人 弘善会

矢木脳神経外科病院

〒537-0011 大阪府大阪市東成区東今里 2-12-13
tel.06-6978-2307(代表)

[アクセス]

